

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	Extensive Reading B		
英文授業科目名	Extensive Reading B		
開講年度	2007年度	開講年次	3年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	酒井 邦秀		
居室	東1-716		

公開E-Mail	授業関連Webページ

<p><b>【主題および達成目標】</b></p> <p>必須項目。                  主題と達成目標を以下の例のように(a), (b)と項目立てしないで、一文として記述しても結構です。                  (例)                  (a) 主題：学生がこの授業科目の意義を理解できるように、目的、背景、主たるテーマ、などを記述してください。                  (b) 達成目標：学生がこの授業科目によって身につけるべき、知識、能力、スキル、などを記述してください。</p>
--

<p><b>【前もって履修しておくべき科目】</b></p> <p>この科目を履修するために、前もって履修しておくことが必須の科目を記述してください。必須のものがない場合は、「なし」と明記してください。                  元来この項目は、ここに挙げた科目の単位を未取得の学生は、当該授業科目の履修が無理であることを意味していますが、厳格な運用には、未取得学生の措置、留年生の増大の可能性、等の問題があり、この項目の運用法については教育委員会での今後の課題としています。本年度は従来通り、学生にこの科目の履修に不可欠な知識・能力を明示するための記述としてお書きください。</p>
--

<p><b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b></p> <p>上記の「履修しておくべき」程ではないが、この科目を履修するために、前もって履修しておくことが望ましい科目を記述してください。</p>
---

【教科書等】

いわゆる教科書などはありません。多聴・多読・シャドーイング用の素材は酒井が用意します。ただし、酒井の用意する本は毎年かなりの率で消えていきます。そこで、補充用に1学期につき1000円を集め、酒井の奨学寄付金講座に寄付し、それを多聴多読素材及び機器購入に当てます。

また、多聴・多読・シャドーイングの履歴を記録し、先生による助言の資料とするために、「読書記録手帳」を購入してください。

なお、この授業の参考書としては

「どうして英語が使えない？ 学校英語につける薬」酒井邦秀、ちくま学芸文庫

「快読100万語！ ペーパーバックへの道」酒井邦秀、ちくま学芸文庫

「教室で読む英語100万語」酒井邦秀、神田みなみ、大修館書店

があります。

【授業内容とその進め方】

必須項目。

注1：授業内容と、授業の進め方は、学生がわかるようになっていれば、必ずしも各回ごとに分離して記述する必要はありません。

注2：下記の例2において、第N回は第N週を意味するものではありません。学生が回を追ってどのような内容が授業されるかがわかり、それを見て予習などができるようにすることが目的なので、学生が予め授業内容がわかるならば（例1）のように包括的な説明と主要なトピックスを示す方法もあります。

（例1）

(a) 授業内容

この授業では、～の説明からスタ

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

必須項目。

注1：評価方法は、学生が自分の成績評価を確認できるように、（%による表示は必須ではありませんが）極力具体的に示してください。

注2：成績評価の公正さを期するためにも、必ず評価基準を記述してください。評価基準とは、少なくとも単位取得に必要なレベル（可と不可の区別を示す基準）を意味します。より上位のレベルの基準は、必要ならば記述してください。

注3：同一科目を複数の教官が担当する場合、不公平が生じないように、この項目の書き方については、事前に担当者間で十分にご相談の上、記入してくだ

## 電気通信大学 平成19年度シラバス

### 【オフィスアワー：授業相談】

課題の本または音声素材が終わったら研究室に取り替えに来てください。その際に研究室の戸を叩いて、様子を聞かせてください。

月曜日の午後  
火曜日の午前午後  
水曜日の午後から6限  
木曜日の午後  
金曜日の午後

### 【学生へのメッセージ】

前期のExtensive Reading Aを履修した人は、すでにみずから選んだ道の手応えを感じているか、あるいは物足りないと感じているか、どちらかでしょう。いずれにせよ、academic Englishにもう一歩、二歩、近づくために、より多くの英語を吸収し、より多くの英語を話し、書いて、専門に役立てるため、気持ちを豊かにするために、前進しましょう。

### 【その他】